

第9回

Webプログラミング(PHP)

吉澤 和香奈

データベースの作成

- 必要な項目を確認
- dat_salesテーブル作成(p254)
- dat_sales_productテーブル作成(p254)

データベースにINSERT

- \$dbh=null; \$honbun.="送料は無料です。"の前に dat_salesテーブルへのINSERT文追加(p256)
- LAST_INSERT_ID() で直前のINSERTしたcodeを取得する(p257)
- for文内のSELECT時にpriceを配列kakakuに格納(p257)
- dat_sales_productに明細データをINSERT(p257)

テーブルの結合

- 2つ以上のテーブルから意味の紐づいたデータをくっつけて処理を実行することが出来ます
- PHPMyAdminからテーブル結合をしSELECT文を発行してみる(p259)
 - SELECT * FROM dat_sales, dat_sales_product WHERE dat_sales.code = dat_sales_product.code_sales
- SELECT * <-アスタリスクを使うことで全てのカラム指定が出来る
- テーブル結合した場合はカラム名の前にテーブル名を明記

トランザクション実装

- dat_salesにINSERTする前にLOCK TABLESを追加(p262)
- dat_sales_productのINSERT後にUNLOCK TABLESを追加(p262)
 - 時間に余裕がある人はタブを複数開いてsleep()関数を使いデータの整合性を確かめてみて下さい
- トップ画面へのリンクを追加(p263)
- カートの中身を空にする処理を追加(p264)

ダウンロードページ追加

- staff_top.phpに注文ダウンロードページリンクを追加(p270)
- orderフォルダ作成
- order_download.php作成(p272)
- common.phpにpulldown_year()など関数作成(p273)
- 関数読み込み・置き換え実装(p274)(p275)

フォーマット文字列処理

- pulldown_year()など関数で繰り返している<option></option>をfor文で出力するようにする
- 数字が1桁の場合0を前方に足し2桁にしたいので、sprintf()を使い2桁をフォーマット化する
- sprintf('%02d', \$int);

ダウンロードデータSQL文

- 今日日付の注文データをブラウザから作成する
- PHPMyAdminを立ち上げる
- substr()を使って本日の注文明細データの取得(p276)
- 商品名の取得(p278)
- 明細番号、日付、ユーザコード、名前、メールアドレス、郵便番号、住所、電話番号、商品番号、商品名、値段、数の取得(p279)
 - AS を使ってnameの重複回避(p281)

ダウンロードページ作成

- order_download_done.phpを新規作成(p283)
 - 前ページのデータを\$_POSTで取得
 - Database接続情報を別ページからコピー
 - 先ほどのSQL文を貼り付ける
 - SQLが取得できているか確認

CSV作成

- CSVヘッダー作成(p284)
- ループ内で1行づつデータを取得しCSVに追加
- `nl2br()`でCSVデータの確認

CSVダウンロード

- ファイルアクセス・書き込みについて(p285)
- CSVの文字コードについて(p286)
- CSVダウンロード実装
 - `nl2br()`をコメントアウト(p286)
- ファイルアクセスと書き込み
- データのダウンロードリンク

ランダムファイル名

- ファイル名を被らないように命名する
 - `new DateTime();`
 - `md5()`などのハッシュ値
 - `rand()`などのランダム関数
- `fopen()`、ダウンロードリンクのファイル名を上記に置き換える